

2 助成対象のまちづくり活動を行ったふりかえり

申請書に記載の活動の「目的、目標、計画」に基づきふりかえりをご記入ください。

(1) 目標達成（目標を達成できたか、達成できなかったものがあればその理由）

★日常のまちづくり活動がフェーズフリーの視点で防災活動に繋がることを実証できた。

目標①食の楽しみ：防災訓練で炊出し料理には異色な「タコス・ケーキたこ焼き」を提供
鳴海祭りや左義長祭りの地域行事でも食を楽しみながら炊出し訓練を実施した。

目標②作る楽しみ：能登地震の避難者の声を教訓に、レタス等の葉物野菜の水耕栽培に初挑戦した。室内で野菜を栽培し収穫できるので少し苦労はするが楽しく取り組めた。

目標③稼ぐ草刈り：昨年も猛暑で草刈り作業は非常に大変だった。作業を楽にするため、草刈機の走行機能を改造し、外部業者の依頼を代替できる程の経済的な自立性を実現した

3回目に当たり、持続的な活動の仕組みを「楽しさ」と「稼ぐ」を基軸に活動を実施した。

(2) 活動の成果（参加者や地域住民の評価、活動を通して得られた成果など）

・昨年起こった能登・日向灘沖地震への危機感もあって、地域住民の防災意識の高い時期に興味深くフェーズフリーの防災事例を紹介する事ができ炊出し訓練も3回実施できた。

・我々のまちづくり活動は、毎月実施する公園の清掃と草刈りを原点にしている。炊出し訓練の事前準備や反省会の場でもある。地域の自主防災力の強化になり、コロナ禍ですっかり断絶していた住民交流の場が復活したと地域住民から好評を得ることができた。

(3) 活動における工夫（活動の目標達成のために工夫した点など）

・炊出し訓練では、慣れないメンバーが練習なしで多数の人に料理を提供する必要があり、写真入りのレシピと行程表を作成し工夫した。そのため事前に何回も試食を重ねた。フェーズフリーの視点から定番の鍋料理でなくメキシコの「タコス料理」にも挑戦した。

・昨年の反省を受け、炊出しの料理ばかりでなく弱い子にも平等に提供する誘導もできた。小さな経験の積み上げであるが、本活動を共助の気持ちを波及するように工夫した。

(4) 活動の改善点（課題や反省点と、それを踏まえ今後の改善などを具体的に）

・「作る楽しみ」としてレタス等の水耕栽培にトライしたものの、簡単でない事を実感した水耕栽培の本を参考にして簡単にできると思っていたが、素人考えであった。逆に育てるために水質管理や日照・室温等を最適化する工夫が必要であり、作り育てる楽しみでもある。工夫して自ら育てた野菜は、購入したものよりおいしい気がする。

・「作る楽しみ」は苦労するほど倍増する。本活動を今後もいろいろと発展させるつもりだが、新たな課題が発生もするが、苦労を楽しむくらいの心掛けで進めていきたい。

(5) 次年度の活動計画（具体的な活動の見通しなど）

・過去3年間の経験を活かして、来年度以降も本活動を継続的に実施できると考えている。炊出し訓練を兼ねて「食で楽しく」集う行事は人気があるので、地域行事は毎年実施されるので、伝統的なお祭り行事に食を通じて参加協力していく予定である。

・草刈り機も専門業者に匹敵する作業性を改造によって追及したので、稼げる草刈りを達成地域内にある2つの公園や他の依頼によって財源を確保できる。マネタイジングによって経済的に本活動を自立させ、継続的に発展させることができると思う。

(6) 活動を進めるうえで、助成事業について改善を望むこと

・他のグループやアドバイザーとの交流会は非常に役に立った。多彩な取組みを吸収できる相互発表会も良いので、大人数でなく少人数で実施してもらえると良いと思う。

・事務局からのメールによる情報提供も参考になった。活動を進めていると相談したくなる場面もあるので、気軽に相談できるような交流の場やメールがあると助かると思う。

※第5号様式は、2ページにおさまるように記入してください。

※活動における実施した内容（写真やレポート、調査結果等）、経費にて作成した成果品（チラシ、冊子など配布物）を別添資料としてください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施記録

実施記録は 1 ページにおさまるように記入してください。

年	日付	活動項目	活動内容	参加者数や印刷物の発行部数等
2024	6 月 30 日	・助成決定を受け年間計画	・今年度の実施計画をメンバーで確認 毎月の清掃活動をベースに地域の行事で炊出し訓練を予定	スタッフ 8 名
	7 月 14 日 8 月 4 日	・扇川と汐田公園の清掃・草刈り実施	・LP ガス発電機を活用して地域の公園の清掃と草刈りを実施。 防災訓練の炊出し料理を計画	スタッフ 8 名
	9 月 22 日	★防災訓練で炊出し料理の提供と広報	★LP ガスコンロ・発電機を利用して炊出し訓練を実施 タコス料理とたこ焼き器でミニカステラ作りを実施 防災訓練に参加した住民に広報活動	スタッフ 8 名 参加者 45 名
	10 月 19 日	★子供神輿祭でチョコフォンデュ等の提供 炊出し訓練と広報活動 ☐ 枠は地域行事に同調して実施	★地域の行事である鳴海祭りの子供神輿に合わせて炊出し訓練を実施。 バナナのチョコのフォンデュや果物デザートお祭りの参加者に提供 平等に食べられるように配慮した。 ・公民館下でフェーズフリーな活動 LP ガス発電機、草刈り機、野菜の水耕栽培等を地域住民に展示しチラシも配布し広報・啓蒙活動	スタッフ 8 名 参加者 57 名 チラシ配布 57 部
	11 月 17 日	・公園の清掃と草刈り作業の効率化	・定期の清掃活動を実施しながら、草刈り機の先端に補助輪を装着	スタッフ 7 名
	12 月 8 日	・公園の清掃と樹木の剪定	・LP ガス発電機を活用して繁茂した樹木の剪定と草刈り作業	スタッフ 6 名
	12 月 15 日	・公園の清掃と左義長祭りの打合せ	・剪定後の公園の清掃活動を実施 左義長祭りに合わせて炊出しを打合せ	スタッフ 8 名
2025	1 月 12 日	★左義長祭りでお餅ぜんざい炊出し訓練と広報活動	★公民館の下で左義長祭り焚火を利用し熾火を作成し、焼餅と焼きイモを作成し、参加者に提供し広報活動。 巡回中の消防団メンバーも参加してもらい防災の啓発活動を実施	スタッフ 8 名 参加者 39 名
	2 月 16 日	・公園清掃後に当年度活動の反省会	・定例の清掃活動後に当年度の活動内容を振り返り、身近で発生した地震に照らして本活動の重要性を確認。 今後も本活動を継続する事を決定。	スタッフ 8 名

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の決算書

1 支出

助成対象のまちづくり活動における支出をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	領収書番号	金 額 (円)
① 助成対象事業支出額				105,142
① の内訳	消耗品費	◆文房具 説明資料用フォルダー、マジックペン 資料整理用クリアホルダー、ノート	① ～ ③	8,585
		◆炊出し訓練時の消耗品 防災訓練（9/22）の炊き出し消耗品 子供神輿祭り（10/19）行事の消耗品 左義長祭り（1/12）行事の消耗品	④ ～ ⑤	4,070
		◆水耕栽培と草刈り機改造の消耗品 水耕栽培用の液肥、種苗の消耗品 水耕用ジェルポリマー 草刈り機改造用の塗装ペンキ	⑥ ～ ⑪	10,596
	物品費	◆たこ焼プレートと関連備品 たこ焼き器、LPガスコンロ用プレート 油引き、タコ焼きピック、粉つぎ器	⑫ ～ ⑬	24,001
		◆炊出し訓練用の調理用道具 タコス用プレス器 キッチンスプーン フライパン、水切りザル、まな板 調理用ボウル等調理道具	⑭ ～ ⑮	9,020
		◆草刈り機の走行改造用の部品購入 走行補助輪、キャスター部品 パイプ固定治具、穴あけドリル刃 六角ボルト・ナット 改造用の部品	⑯ ～ ㉓	26,824
		◆野菜の水耕栽培用ポット・関連備品 グラスコップ フラワースタンド ミニプランター 飾りの野菜・果物	㉔ ～ ㉖	13,109
	資料費	◆参考図書の購入 ・かんたん水耕栽培、たこ焼きレシピ 避難所に行かない防災の教科書 3冊 ・たこ焼き器 120%レシピ たこ焼き機アイデアレシピ 2冊 ・やさいのかんたん水耕栽培 1冊 ・RICE ライス タコス特集 1冊	㉗ ～ ㉙	8,937
まちづくり活動助成金（申請金額） ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目では10万円				100,000

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。